



# 希望

新宿区立四谷小学校

学校だより

## 春の息吹

校長 飯田 孝一

数十年ぶりの雪をもたらした2月が去り、花壇の菜の花やチューリップが急速に花芽を伸ばしています。春の足音が近づくとともに、子供たちは進級や進学に向けて夢を膨らませています。

ここで開校7年目の、本校の1年を振り返ってみます。

**1 学校力**：10年に1回巡ってくる小学校社会科研究協議会全国大会の会場校となり、大会を成功裏に終えることができました。2年に及ぶ一連の研究を通じ、本校の若き教師集団は共に学び合い、磨き合って授業力向上を図り、学校全体の指導力・組織力を高めました。

**2 確かな学力**：子供たちは問題解決学習で培った学びのスキルを他教科にも応用し、基礎・基本の習得から思考・判断・表現の力を着実に身につけました。過日の教育委員会学校訪問においても子供たちの発表力向上が話題に上りました。

**3 地域協働学校**：区内の小学校で初の新宿版コミュニティスクールとして発足し3年目に入りました。いつでもやれるときに参画できる支援組織「スマイルクラブ」が好評です。

**4 特色ある教育**：四谷地区ならではの子ども園・近隣中学との幼小中連携教育、充実したICT環境を活用した教育はもとより、スマイルクラブと地域の皆様に支えられた読書活動、環境美化活動、福祉活動等が一層充実してきました。

◆開校8年目に向け、これまで築き上げた礎をさらに発展・充実させ、四谷の子供たちが確かな学力と豊かな心、逞しい体力を築き、夢と希望をもって生きられるよう全教職員一丸となって見守って参ります。

## 天童交歓行事

姉妹校交流担当 5・6年担任

3月21日（金）～23日（日）に、山形県天童市立干布小学校の6年生が四谷にやってきました。夏の交歓行事では天童の方々に温かく迎えていただきました。春は四谷小の子供たちが天童の方々をお迎えする番です。みんなで温かく歓迎したいと思います。

以下は、子供たちの期待の声です。

- ・天童のみなさんは、温かく歓迎してくださったので、四谷小も感謝の気持ちをこめてお迎えしたい。
- ・四谷小に来た時に、干布小学校のみなさんが「わあー！楽しそうで明るい学校だな。」と言ってもらえるように楽しくお迎えをしたい。
- ・夏、家に泊まらせていただきお世話になったので、春はそのお礼をしっかりとしたい。
- ・四谷小も干布小学校も、思い出に残るような体験をしていきたい。
- ・東京を好きになってもらい、3日間ずっと楽しく過ごしてほしい。干布小学校のみなさんを楽しませたい。
- ・私は夏の天童交歓会に出席していないので、仲良くなれるか分かりませんが、干布小学校のみなさんとたくさん話し、仲良くなりたい。
- ・天童の方々は東京に行きたいとよくおっしゃっていたので、天童の方々が楽しめる場所に行つて楽しみたい。
- ・夏にとってもお世話になったので、感謝の気持ちを伝えられるようにしたい。そして、「また東京に来てみたいな。」と思ってもらえるようにする。
- ・夏に天童でお世話になったので、天童のみなさんに楽しんでいただけるようにしたい。

子供たちが期待の声を行動に示せるよう、全力で支援していきたいと思います。